

氏名	木戸聡史	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	呼吸理学療法学、リハビリテーション工学				
学位	博士（工学）修士（理学療法学）				
学歴	2003年 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科，2005年札幌医科大学大学院保健医療学研究科理学療法学専攻博士課程前期，2018年千葉大学工学研究科博士課程修了				
経歴	2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教，2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師，2018年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科准教授・保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士学会，日本呼吸理学療法学会，日本支援工学理学療法学会，日本呼吸ケアリハビリテーション学会，専門リハビリテーション研究会，埼玉県理学療法士会（学術編集部員），埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、呼吸機能イメージング研究会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	車椅子使用者のトイレ室内転倒検出における熱画像センサ設置位置の選定ための模擬試験	共著	あり		支援工学理学療法学会誌(採択)	白銀暁,木戸聡史,村田健児,宮坂智哉,佐賀匡史,濱口豊大,田中敏明
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	特発性肺線維症患者の肺容積評価は持久力や日常生活動作に関連するか - シングルケーススタディー -	共	第28回千葉県理学療法学会大会、東金市		○善田督史、木戸聡史、柚口菜津子、赤間美波	2023.3
2	健常若年男性における胸腹部計測による肋骨角度・肋骨形状の予測	共	第32回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会		○柚口菜津子,赤間美波,善田督史,熊谷雄基,小栢進也, 兪文偉 ,木戸聡史	2022.11
3	超音波エラストグラフィを用いた腰部疲労筋に対する温熱療法効果に関する検討	共	日本物理療法合同学術大会2023		○奥村崇幸，新田真之介，木戸聡史，吉田英樹	2023.2
4	左室駆出率が保持された心不全患者のサルコペニアとCardio-Ankle Vascular Index	共	第56回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会、東京		○小川明宏、清水一寛、神崎慎也、中神隆洋、清川甫、木戸聡史、白井厚治	2023.1
5	心疾患患者における最高酸素摂取量の規定因子としての動脈弾性能	共	第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会、沖縄		○小川明宏、清水一寛、神崎慎也、寺山圭一郎、秋葉崇、中神隆洋、清川甫、木戸聡史、白井厚治	2022.6
6	最高酸素摂取量の規定因子としての動脈弾性能Cardio-Ankle Vascular Index	共	第28回千葉県理学療法学会大会		○小川明宏、清水一寛、神崎慎也、寺山圭一郎、秋葉崇、寺本博、中神隆洋、清川甫、木戸聡史、白井厚治	2023.3
7	健常成人男性における運動条件が活動筋と呼吸補助筋の酸素化動態に与える影響	共	呼吸理学療法学(2436-7966)8th.Meeting巻 Page 0-09-06		小川 高弘, 真鍋 毅大, 奥村 崇幸, 小栢 進也, 木戸 聡史	2022.11
8	健常成人男性において運動強度が活動筋・呼吸筋の酸素化動態に及ぼす影響	共	呼吸理学療法学(2436-7966)8th.Meeting巻 Page 0-09-05		真鍋 毅大, 小川 高弘, 奥村 崇幸, 小栢 進也, 木戸 聡史	2022.11
9	健常若年成人男性における肋骨構造および角度の非対称性	共	呼吸理学療法学(2436-7966)8th.Meeting巻 Page 0-09-03		木戸 聡史, 柚口 菜津子, 赤間 美波, 善田 督史, 熊谷 雄基, 小栢 進也, 兪 文偉	2022.11

10	リハビリテーション介入がなされた敗血症患者において栄養充足率が筋変化量へ及ぼす影響	共	日本集中治療医学会雑誌 (1340-7988)29巻Suppl.1 Page563	阿部 遼, 島居 傑, 北村 伸哉, 木戸 聡史	2022.11
11	入院期高齢心不全患者におけるMNA-SFとSPPBの関連性	共	日本サルコペニア・フレイル学会雑誌(2433-1805)6巻 Suppl. Page169	菅生 真行, 阿部 遼, 小川 明宏, 内橋 千晶, 豊留 愛弓, 望月 哲平, 馬場 俊也, 木戸 聡史	2022.10
12	入院期高齢心不全患者における複数の栄養スクリーニング評価と身体機能評価の関連性		日本リハビリテーション連携科学学会第24回大会	菅生真行, 阿部遼, 小川明宏, 内橋千晶, 豊留愛弓, 望月哲平, 木戸聡史	2023.3
13	膝蓋大腿関節における早期軟骨変性者の形態学および身体特徴		第10回日本運動器理学療法学会学術大会	小栢進也、喜多俊介、島村雅彦、木戸聡史	2022.9
14	健常若年男性における胸腹部計測による肋骨角度・肋骨形状の予測	共	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌(1881-7319)32巻Suppl. Page175s	柚口 菜津子, 赤間 美波, 善田 督史, 熊谷 雄基, 小栢 進也, 兪 文偉, 木戸 聡史	2022.10

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C	リハビリテーション評価および治療に使用するための呼吸器シミュレーションモデリング	研究代表者	2021.4～
2	埼玉県立大学奨励研究費 S研究 S-1	呼吸運動・呼吸機能を向上させる新たなトレーニング支援機器の要素技術開発	研究代表者	2021.4～

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法学	○	4	内部障害系領域の理学療法について講義を行った
2	呼吸理学療法学	○	8	呼吸機能生理・呼吸運動生理に基づいた学修と計測機器を用いた呼吸の解析を実施した
3	身体機能運動学		1	運動負荷試験について講義を行った
4	理学療法応用技術学H（内部新領域）	○	8	内部障害の新たな領域について講義を行った
5	大学院博士前期 内部機能障害治療学特論	○	15	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った
6	大学院後期課程 IPWシステム開発論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義および討論を行った
7	大学院前期課程 IPW論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義および討論を行った

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法特別演習		1	理学療法士国家試験に準拠した内容を、単元分野ごとに整理するため、心肺系の解剖・生理・運動学・病態・理学療法についてポイントを絞って講義した
2	基礎運動療法学演習	○	3	運動療法の基盤となる運動生理学について講義と演習指導を行った
3	理学療法研究法演習		1	自身の研究領域に関する講義を行った
4	大学院博士前期 リハビリテーション学演習（内部機能障害治療学）	○	30	内部機能障害の病態理解および治療に関連した知識/技術を習得するために、講義・論文抄読・ディスカッションなどを行った

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	内部障害理学療法学実習	○	後期 12	内部障害系領域の症例に対する理学療法の評価・治療について実技指導を行った

2	運動学実習		前期 20	グループに分かれての実習について動作分析および体力良好と運動処方を担当した
3	理学療法セミナー (OSCE1)		前期 3	臨床教育実習Ⅱに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力を身につけるため、学生の個別指導を行った
4	理学療法セミナー (OSCE2)		後期 3	臨床教育実習Ⅲ,Ⅳに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力及び理学療法の基本的評価・治療技術を身につけるため、学生の個別指導を行った
5	臨床教育実習Ⅰ			検査測定を中心とした実習後指導を行った
6	臨床教育実習Ⅱ			理学療法評価習得を中心とした実習中、実習後の指導を行った
7	臨床教育実習Ⅲ			総合実習においての実習中、実習後の指導を行った
8	臨床教育実習Ⅳ			地域・特定領域においての実習中、実習後の指導を行った
9	ヒューマンケア体験実習	○	後期 15	ヒューマンケア体験実習の科目責任者として報告会運営などを行った
10	応用運動療法学実習		前期 8	内部障害系領域の症例に対する運動療法について指導を行った
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2022.4~2023.3	主指導 4名 副指導 名
2	修士論文		2022.4~2023.3	主指導 (指導教員) 3名 副指導 (指導補助教員) 1名
3	博士論文		2022.4~2023.3	主指導 (指導教員) 名 副指導 (指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称		期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	学部ゼミ		2022.4~2023.3	学部ゼミ生の研究指導として週1回程度開催した
2	大学院ゼミ		2022.4~2023.3	大学院生の研究指導として月2回程度開催した
3	専門職対象症例検討会		2022.4~2023.3	卒業生・大学院生理学療法士を対象とした症例検討会を2ヶ月に1回行った
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	体力測定会 in 埼玉県立大学		埼玉県立大学	高齢者111名を対象とした体力測定会 (8月29-9月2日) 2022年8月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目		相手方等	内容 期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	学科等における委員会等		実習指導者会議企画・運営責任者	2022.4-2023.3
2	学科等における委員会等		学科教務担当	2022.4-2023.3
3	学科等における委員会等		教務委員会委員	2022.4-2023.3
4	学科等における委員会等		埼玉県立大学広報紙編集チーム員	2022.4-2022.9
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	第60回全国自治体病院学会 優秀演題 リハビリテーション介入がなされた敗血症患者におけるICU-AW残存に対する寄与因子. 阿部遼, 菅生真行, 小川明宏, 木戸聡史		全国自治体病院学会	2022.11
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			